

【全日制】令和7年度 第3学期始業式 校長式辞

皆さん、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

新しい年を迎え、今日から3学期が始まります。

冬休みを終え、久しぶりに皆さんの元気な顔を見ることができ、とてもうれしく思います。

それぞれが、家族との時間や部活動、自分自身を見つめ直す時間など、意味のある冬休みを過ごしたことを思います。

さて、3学期は一年の中で最も短い学期ですが、最も「次につながる」学期です。

この学期は、学年ごとに大きな節目を迎える時期でもあります。

まず、3年生の皆さん。

これから受験を控えている人もいますね。受験直前という時期は、不安や緊張を感じるものです。

しかし、これまで積み重ねてきた努力は、決して無駄にはなっていません。

自分を信じ、最後まで粘り強く取り組んでください。

そして、今年は3月2日に卒業式があります。

コロナ禍以降、昨年度までは3年生のみでの卒業式でしたが、今年は全校生徒で3年生を送り出す卒業式を復活させます。残された時間を大切に、自分らしい形で高校生活を締めくくり、胸を張って卒業の日を迎えてください。

次に、2年生の皆さん。

いよいよ、次は皆さんが桐商の最上級生となります。学校の雰囲気や文化は、最上級生の在り方によって大きく左右されます。

行事や部活動、日常の一つ一つの場面での言動には、最上級生としての責任が伴います。また、「課題研究」の授業では、さまざまな企業や商店などと協働しながら、課題解決に取り組むことになります。

「自分たちが桐商をつくっている」という当事者意識を持ち、

3年生やさらに上の世代が築いてきた桐商の良さや伝統を受け継いでください。

そして、ビジネスを学ぶ商業高校生として、社会のルールを守るだけでなく、相手に配慮し、マナーを意識した行動を取ることが求められます。より主体的に考え、判断し、行動する姿を期待しています。

最後に、1年生の皆さん。

まもなく、皆さんには後輩ができます。

皆さん自身の姿や行動は、これから入学してくる後輩たちにとって、大切な手本となります。

「先輩になる」という自覚を持ち、自分なりの在り方を意識して、3学期を過ごしてください。

本校が掲げる SPARK for our Well-being !

は、「自ら考え、判断し、行動し、困難に負けず挑戦し続ける力」を育てることを目指しています。

これは、「自由にしてよいことが増える」という意味ではありません。

一人一人が、自律した学習者として、責任をもって行動することが求められます。

そして、この力は、日々の授業や行事、部活動、そして思うようにいかない経験の中でこそ培われます。

3学期は、これまでの経験を振り返り、次の一歩へとつなげる大切な時間です。

一人一人の行動の積み重ねが、皆さん自身の未来をつくり、桐商の未来をつくれます。

3学期が、次のステージへと確実につながる学期になることを願っています。

今年も、ともに学び、ともに挑戦していきましょう。

以上で、始業式の挨拶とします。